

「麻しん」(はしか) の世界的流行

2024.3/15

東京外国語大学保健管理センター

「麻しん」(はしか) *は、世界的に流行している感染症です。昨今、海外において、麻しんの流行が報告されており、また国内においても、海外からの輸入症例が契機と考えられる事例報告が増加しています。

今後、輸入症例や国内における感染伝播事例の増加が懸念されています。

・学生・教職員の皆様におかれましては、ご自身の感染予防のために、また学内での感染拡大防止のために、2回の麻しん含有ワクチン接種歴があることを確認して下さい。

・海外に渡航される方は、感染予防及び帰国後の国内での感染拡大防止のために、渡航前に2回の麻しん含有ワクチン接種歴があることを確認してください。

・海外から訪日される方や帰国者・渡航者と接する機会が多い方も、海外からの持ち込みリスクに備え、2回の麻しん含有ワクチン接種歴があることを確認して下さい。

これまでに麻しんに罹患したことがなく、かつ麻しんワクチンを接種したことがない方は、麻しんに対する免疫を持たないので、早めにワクチン接種されることをお勧めします。

また麻しんの予防には2回の予防接種を受けることが大切です。これまでに予防接種を1回は受けたものの2回目の接種が不確実な方は、2回目の予防接種を受けるか、麻しんに対する免疫を調べて不十分な場合には2回目の予防接種をお勧めします。

詳細については*「ほけせんだより 243号」もご参照ください。

ご不明な点がございましたら、当保健管理センターまでお問い合わせください。